

# まなびやまと

2001年(平成13年)7月  
大和市教育委員会

## 「安全な学校」をめざして

6月8日、大阪府池田市の小学校で発生した殺傷事件は、類をみない痛ましい出来事でした。亡くなられた児童の皆様のご冥福をお祈り申し上げます。また怪我を負われた方々、ご家族が被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

本市教育委員会では、市内小中学校に、学校への不審者の侵入について注意するよう通知しました。また、臨時校長会議が開かれ、児童・生徒の安全確保に関する話し合いがなされました。各学校においては、正門や通用門の戸締まり、外来者の校舎内への出入りのチェック、教職員による校内巡視など、具体的対応を図るとともに、本市教育委員会でも、小学校1・2年生と障害児学級の全担任、保健室の養護教諭、校内に併設された児童ホームに、防犯ブザーを1個ずつ配布し、不審者の侵入や災害などの緊急時に対応するための手だて

を講じました。また、6月21日、「児童・生徒安全対策会議」(大和警察署生活安全課長、市PTA連絡協議会代表、小中学校長代表、教育委員会事務局により構成)を開き、教育委員会、学校、関係機関・団体が、何をどうすべきかについて具体的に情報交換し、互いの協力体制を確認しました。保護者や地域の方々のご協力をいただきながら、このような事件が発生しないよう、今後とも「安全な学校」をめざしてまいります。

## ハロー! 小学校の国際教育指導員が大活躍



いつも明るいファーディンさん(左)とアンさん(右)

6月5日、小学校の国際教育指導員(英語指導員)が深見小学校の4年生の教室で授業を行いました。市教育委員会では、小学校から国際理解・異文化理解や早くから英語に慣れ親しむ機会とするため、平成11年度から同指導員を採用し、学校の要請により派遣しています。今年度は、チョーナさん(フィリピン出身)、ファーディンさん(イラン出身)、ティムさん(アメリカ出身)、アンさん(カナダ出身)の4人が授業を行っています。

授業は最初から最後まですべて英語で行われ、あいさつの仕方、生まれた国の紹介、質問の答えを絵カードで取り合うゲームなどを行いました。

ファーディンさんは、「子どもたちが楽しく英語を学べるようにしていきたい。また、イランや多くの国々の様子も紹介していきたい」と抱負を語っていました。

## 小さな生き物に歓声

### トンボ救出大作戦

5月22日、中央林間小学校のプールで、5・6年生によるトンボ救出大作戦が行われました。これは、水泳学習が始まる前に、プールにいるヤゴを救出しようというものです。この活動は、市の環境総務課と自然観察センター「しらかしのいえ」が共催し、さらにNPO法人「かながわ環境教育研究会」や、しらかしのいえの市民ボランティアが参加して行われました。



ヤゴを探す子どもたち

## 刊行にあたり

「まなびやまと」は、開かれた教育行政の一端として、保護者、市民、教職員向けに、本市における各学校の教育活動や教育委員会の事業を、具体的にお知らせしようとするものです。年2・3回の発行を予定しています。気軽にお読みいただき、ご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

## 修学旅行 発

ガイドブックを片手に琵琶湖博物館の見学



その後の総合的な学習で、修学旅行で見学したことを生かしながら、子どもたちは、大和市の歴史、環境、福祉、産業などについて取材や資料の調査を行い、独創的な博物館の展示物づくりに取り組んでいます。

## 総合的な学習 行き

### ～大和市に手づくり博物館をつくろう～

4月22日から2泊3日の日程で、鶴岡中学校3年生の修学旅行が行われました。京都、奈良方面の見学の他、今年は初めて3日目に滋賀県の琵琶湖博物館を訪れました。同博物館を見学地を選んだのは、3年生が学期の総合的な学習で、「自分たちで手づくりの博物館をつくろう」というテーマで学習していく計画を立てており、参考になることが多いだろうと考えたからです。

同博物館には、琵琶湖のおいたちや人と琵琶湖の歴史、琵琶湖の生き物などが展示され、子どもたちは、広い館内を熱心に見学してまわりました。

## 今日は 何を読もうかな

### 朝の10分間読書

林間小学校では、昨年度から朝の10分間読書に取り組んでいます。今年も6月と10月の火曜日と木曜日、8時35分から全校で10分間読書を実施しています。

6月5日、同小学校を訪れると、それまでにぎやかだった子どもたちの声が聞こえなくなり、学校中がシーンとなりました。全校一斉に朝の10分間読書が始まったからです。

4年生の教室をのぞいてみると、家から持ってきた本や、図書室から借りた本を子どもたちは真剣な表情で読んでいました。

担任の先生は「全校一斉に取り組むので子どもたちは気が散ることなく、集中して読んでいる。また、読書終了後、子どもたちは落ち着いて次の学習に取り組んでいる」と話していました。

朝の10分間読書は、市内の小中学校で少しずつ広がりをみせています。



熱心に本を読む子どもたち

## 下水道のことが わかったかな

### 下水道出前授業大好評

暮らしの中で大切な役割を担っている下水道について、子どもたちがその様子を知る機会が少ないようです。5月22日、柳橋小学校で4年生の社会科の時間に、市の下水道担当職員による出前授業が行われました。

授業では、下水道の役割やしくみについて話を聞いた後、使われた水がどのようにしてきれいにされているかを、浄化センターから用意してきた水を見ながら説明を受けました。

子どもたちは、水をきれいにするのに微生物が活躍していることを知り驚いていました。

下水道の出前授業は、平成8年度から始まり、今年はいよいよ市立小学校



浄化センターの水を示しながら説明する  
下水道担当職員



# ようこそ 渋博2001へ



アイデアいっぱいの渋博会場

6月2日、渋谷小学校で渋博2001が行われました。渋博は、児童会が企画し、全校児童が参加して行われる行事です。渋博には、地域のお年寄りと下和田小学校の4年生から6年生までの子どもたちが招待されました。校庭で行われた開会式では、児童会の代表による歓迎のあいさつや、下和田小学校と渋谷小学校の子どもたちによる校歌の披露などが行われました。教室を利用して作った渋博の会場には、おぼけやしき、ボーリング場、アクセサ

リー店など、子どもたちが考えたアイデアいっぱいの店が出現し、下和田小学校の子どもたちと一緒のゲームなどを楽しんでいました。地域のお年寄りの方たちも昔の遊び道具を用意して参加し、訪れた子どもたちについていねいに遊び方を説明していました。来年4月に緒になる渋谷小学校と下和田小学校では、子どもたちが一緒にスポーツ大会を開いたり、社会見学に出かけたりするなど、計画的に交流活動を進めています。

## 母国でくらしを知る

6月4日、下福田中学校の選択教科の時間に、国際教室に在籍する子どもたちの授業が行われました。現在下福田中学校の国際教室には、カンボジア、ラオス、ベトナム、ポリアなど外国籍の子どもたちが34人います。

授業は南米、インドシナ、中国の3教室に分かれて行われました。インドシナの教室では、自分の両親や自分の出身地を発表し、それを地図で調べたり、どうやって日本に来たかなどについて発表したりしました。他の教室でも自分の出身地を地図で調べ、白地図に表わす学習に取り組んでいました。

この授業にはボランティアの方や市の教育相談員も参加

し、調べたり、発表したりする子どもたちをサポートしてました。

これらの選択教科の時間に学習したことは、子どもたちがまとめ、10月に行われる文化祭で発表することになっています。



出身地を発表するインドシナの子どもたちとサポートするボランティアの方たち

秋の収穫が  
楽しみ



## 子どもたちが 田植えに挑戦



苗が倒れないようにていねいに植えました

6月13日、大和東小学校の5年生が、苗床からの苗とりと田植えを体験しました。同小学校では、昭和54年の開校時から学校そばの水田を借り、地域の農家の方に教えていただきながら、稲づくりの体験学習を行っています。

今年も5年生が総合的な学習の一つとして、4月下旬に種モミをまき、水やりを欠かさず、大切に苗を育ててきました。

水田に入った子どもたちは、田植えが初めてとあって、悪戦苦闘しながら、20cmほどに育った苗をていねいに植えていきました。

これから、稲を大きく育てるにはどうしたらよいか、収穫した米をどうするかなどについて、子どもたちの考えを生かしながら、学習を継続していくことにしています。

## モデル校での 学校評議員制度 始まる

地域に開かれた学校づくりを推進する観点から、校長が学校運営に関し、保護者や地域の方々等の意見を幅広く求めるために学校に置かれる「学校評議員」の委嘱式が、5月14日市役所の会議棟で行われました。今年度はモデル校として南林間小学校・上和田小学校・光丘中学校の3校で実施し、来年度から全校で実施します。

委嘱式では、学校評議員制度についての説明やモデル校となった3校の学校評議員一人ずつに教育長から委嘱が行われた後、学校別に懇談会を行いました。



教育長（左）から学校評議員へ委嘱状が渡されました

## 服を着たまま水中に 転落したらどうしますか



服を着たまま水から上がる体験をする教職員

突然服を着たまま水の中に落ちたときどう対処したらいいか。また、服を着たまま溺れている人がいたときどのようにして救助したらいいか。日常起こりうる出来事を想定した着衣水泳講習会が、市内の教職員を対象に6月8日、指導室の主催で引地台温水プールを使って行われました。

講習会では、水中に転落後、衣服の浮力を利用して泳ぐ方法や、溺れている人を手をつないで助ける方法などを体験しながら学習しました。

警察の調べでは、水死者の約7割以上が着衣の状態であるということから、水泳指導の一つとして、高学年を中心に着衣水泳を取り入れる学校も多くなっています。

## 不登校問題についての公開講座実施

5月22日、勤労福祉会館で「親と教師でなおす不登校」と題して、教育研究所主催による教育相談講座が開かれました。講師は国際学院埼玉短期大学教授金子保氏で、豊富な実践例をもとに、増え続ける不登校問題の解消のための指導方法や心がけなどを具体的に話していただきました。この講座には市内の教職員他、市民も参加して耳を傾けていました。

教育研究所主催の市民公開講座は、事前に市の「広報やまと」に掲載するほか、各学習センターにもチラシを置いてお知らせしています。また、教育研究所のホームページにも掲載しています。



講師の話に聞き入る参加者

## 校舎の耐震補強 工事を行います



耐震補強工事中の校舎  
(昨年7月深見小学校)

市では、地震に強い校舎にするための工事を計画的に進めており、昨年まで小中学校合わせて19校の工事が完了しています。今年は柳橋小学校と下福田小学校の2校で工事を行います。工事では校舎の壁の補強を行い、すべての窓ガラスを強化ガラスに交換します。工事期間は7月から9月ですが、夏季休業期間中ほとんど終了する予定です。工事中の安全には十分配慮しますが、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



市内すべての小中学校でホームページを開設しています。

☆各学校のホームページは市役所または教育研究所のホームページからご覧になれます。

大和市役所のホームページ <http://www.city.yamato.kanagawa.jp/>

教育研究所のホームページ <http://www.city.yamato.kanagawa.jp/kenkyu/index.htm>

お問い合わせ 大和市教育委員会指導室・教育研究所 電話(260-5210・5213)